

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

三菱倉庫株式会社（証券コード: 9301）

【据置】

長期発行体格付	AA
格付の見通し	安定的
債券格付	AA
国内CP格付	J-1+

■格付事由

- 倉庫業を中心に陸上運送業、港湾運送業などを行う物流事業、都市部の物流施設跡地を活用したオフィスビルや商業施設の賃貸などの不動産事業を展開している。三菱グループ企業をはじめ、大手の海運会社や製薬会社などの優良顧客と安定した取引関係にある。医薬品物流サービスでは、豊富な取引実績や医薬品の適正流通（GDP）ガイドラインに対応した物流サービスなどを強みに、医薬品物流のアウトソーシング市場において国内最大シェアを有する。22年10月に茨木5号配送センターが竣工し、保管能力の拡充も進んでいる。
- 業績は好調に推移している。得意とする医薬品物流サービスでは、専用倉庫の新設や温度管理などの高品質な輸配送サービスの拡充により、取扱量を順調に伸ばしている。また、22/3期に続き国際運送取扱事業が堅調に推移している。不動産事業も一定の収益力を維持しており、今後も安定した収益基盤が維持されるとJCRではみている。高水準の成長投資や株主還元強化を実施する中でも、財務の健全性は保たれている。以上より、格付を据え置き、見通しは安定的とした。
- 23/3期の営業利益計画は198億円（前期比9.1%増）と、2期連続で増益となる見通し。倉庫業や港湾運送業における貨物取扱量の増加に加え、海上運賃単価の上昇や円安の影響で国際運送取扱業が依然として好調である。不動産事業では、保有物件の一部で若干の空室率の上昇がみられるものの、商業施設の来場者数の回復が見込まれるなど、底堅く利益を確保できる見込みである。経営計画（23/3期～25/3期）では、医療・ヘルスケアなど重点4分野の強化や物流拠点の新設、複合施設の開発などが計画されており、これらの取り組みを通じて更なる利益成長を図れるかに注目している。
- 23/3期第2四半期末の自己資本比率は61.1%（22/3期末61.2%）と、財務構成は良好な水準にある。経営計画では、事業投資800億円（物流、不動産各400億円）や戦略投資500億円（DX関連投資やM&Aなど）に加え、株主還元500億円などにより、3ヵ年累計1,800億円のキャッシュアウトが計画されている。一定の外部借入が発生する見通しだが、従前からの堅実な財務運営方針に変化はなく、財務構成が大きく悪化する懸念は小さいとJCRではみている。

（担当）大塚 浩芳・村松 直樹

■格付対象

発行体：三菱倉庫株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第15回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2014年3月12日	2024年3月12日	0.734%	AA
第16回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	80億円	2017年12月8日	2024年12月6日	0.210%	AA
第17回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	80億円	2017年12月8日	2027年12月8日	0.340%	AA

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第18回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年12月5日	2029年12月5日	0.220%	AA
第19回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年12月5日	2039年12月5日	0.610%	AA

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	200億円	J-1+

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2023年1月13日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：大塚 浩芳
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014年11月7日）、「倉庫」（2020年5月29日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） 三菱倉庫株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
- JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル